

2026（令和 8）年度神奈川県立保健福祉大学大学院
保健福祉学研究科保健福祉学専攻博士前期課程入学試験
出題意図及び解答（リハビリテーション領域 理学療法学専攻）

一義的な解答を示せるものは解答を公表し、一義的な解答が示せないものは、出題意図を公表しております。

問題（理－１）

《題材を選択した意図》

選択した題材は、理学療法士として必要な基本的知識の習得ができているか、論理的に回答ができるかどうかを見ることを意図しています。

（１）《出題意図》

Timed up and Go Test は理学療法士が患者の身体機能を評価するための評価指標であり、研究論文も数多く報告されているものであり、基本的な理学療法の知識と研究論文に触れているかどうかを問うています。

（２）《出題意図》

痛みは、広く医療の中で注目される障害の原因であり、理学療法国家試験の出題範囲「Ⅳ理学療法治療学」にもカテゴリーとして急性疼痛と慢性疼痛が挙げられている。そのため、基本知識として大学院に入学する学力が保たれているかどうかを問うています。

（３）《出題意図》

内部障害の中でも心臓疾患に対するリハビリテーションは、理学療法士の国家試験の中で臨床問題のメインの分野の１つになっており、特に運動負荷に関する問題は、複数年出題されている傾向があるため、基本知識として大学院に入学する学力が保たれているかどうかを問うています。

問題（理－２）

《出題意図》

回復期理学療法においてそのゴール設定は極めて理学療法士にとって重要な能力であり、各人の理学療法の経験から、ゴール設定を見極める上でその要件を具備していることと、各要件に関わる客観的な考え方を提示する力を問うています。

問題（理－３）

《出題意図》

研究遂行に必要な英文読解の能力、英語の学術論文から重要なポイントを理解し、論理的に文章を構成、記述する力を問うています。